

令和2年度（住吉高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止・職員行動指針の周知・徹底）	公務員としての自覚を持ち、公務外においても県民の信頼を損なうことのないよう不祥事の防止に努める。	○事故防止会議をとおして職員の意識向上を図った。 ○服務規律に関する研修を実施し、意識向上を図った。 ○交通法規に関する研修を実施し、交通法規を遵守するとともに交通事故を防止した。
職場のハラスメントの防止	働きやすい職場環境を整え、協働できる体制を築く。	○ハラスメントに関する研修会を実施し、意識向上を図った。 ○お互いを尊重し、意見を言いやすい職場環境の構築に努めた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	他者の思いに気づく人権感覚を高める。	○生徒の相談体制を整備し、組織的な対応により効率的な支援をした。 ○生徒との連絡にはSNSを使用しないで、適正な連絡手段を用いた。
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰・不適切な指導をなくす。	○生徒との対話を重視した生徒支援を行った。 ○生徒指導は複数の職員で行い、不適切な指導を防止した。
入学者選抜・成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を防止する。	○担任と教科担当者間で生徒情報を共有し、事故防止を図った。 ○成績処理業務及び調査書発行に係る事故防止のため、点検作業を確実にを行った。 ○入学者選抜で受検票作成の誤りがあったが、適切に対処できた。その後の採点等においては適正に対応することができた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	高い倫理意識を持ち、適正な業務執行を行う。	○仕事を溜めず抱え込まず、協力体制の構築を進めた。 ○業務の引継ぎを確実にを行い、業務を適正に行った。
会計事務等の適正執行	私費会計基準の周知と適正な会計処理に努める。	○適正な私費会計事務処理を行い、事故防止に努めた。 ○現金は金庫で保管し、速やかに口座に入金した。

○ 令和2年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和3年度に取り組むべき課題 （学校長意見）

職場全体として事故を防止しようという意識は身につけている。個人情報扱う業務ではマニュアルを整備し、それに従って業務を進めているが、前年度踏襲という意識を持たずに、作業ごとの意味をきちんと理解したうえで取り組むことを徹底するようにしたい。